

FUTURE CENTER

フューチャーセンター通信

2017.10.02

若者よ、投票に行こうⅢ

10月2日(月)に岐阜市選挙管理委員会との共同開催により、みんなの森 ぎふメディアコスモス(岐阜市)で、岐阜大学生をはじめ、一般市民、岐阜市職員の皆さん等24人が参加し、「若者よ、投票に行こうⅢ」をテーマに第6回ぎふフューチャーセンターを開催しました。

まず、参加者は岐阜市選挙管理委員会事務局の担当者からこれまでの投票率データ(全国、岐阜市)についての説明と岐阜大学教育学部田中伸准教授からの年代別の投票動向の事例についての話を聞き、情報を共有しました。

18歳と19歳では19歳の投票率がどの選挙においても低下していることに着目して議論を行った後、「19歳を社会(政治)へ巻き込むために、学校(小中高大)、地域社会で何ができるのか?」について意見交換を行いました。

グループワークでは、「社会参加や社会的課題を解決するために個人の意見が大切であるということを感じさせることが重要」といった提言がありました。



岐阜市職員

寺本 直道 さん

社会とつながっているということを伝えたい

ボランティアのような形で、地域の子供達を相手に卓球のコーチをしているので、そこで関わる子供達に、みんな社会とつながっているということを伝えることで、選挙の大切さを理解してもらいたいと思います。



岐阜大学
教育学部4年

河合 香穂里 さん

若者が選挙に行かない原因は、私たちの身近なところに

同じグループの社会人の方が、話を丁寧に聞いてくれたので、話しやすい雰囲気でした。若者が選挙に行かない原因は、身近にあると思いますが、それを乗り越えて、関心を向けさせるのは難しいと改めて感じました。



各グループからの
意見・アイデア

今回のまとめ

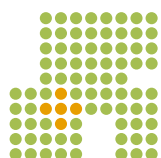
- 政治家には、ブログ等を活用してもっと情報発信してほしい
- 学校の生徒会選挙を見直して、選挙の意義を見出させては
- 選挙公報をカラー刷りにするなどもっと見やすく
- マイナンバーを利用した投票制度やネット投票の導入

今後の展開

今回の対話で出てきた意見は、選挙管理委員会が行う選挙啓発事業等の取り組みの参考とされます。

企画担当者所見

選挙を話題とした対話の場が社会で創出されることで、市民ひとりひとりの主権者意識に対する自覚が促されることが期待できると思われる。



CCSC
Center for Collaborative Study with Community

地域協学センター
TEL.058-293-3168
<http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp>

[FAX] 058-293-3167
[E-Mail] ccsc@gifu-u.ac.jp



国立大学法人

岐阜大学



文部科学省

地(知)の拠点